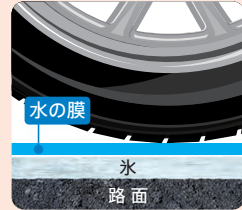


ブリザックはしっかり止まる、曲がる。 決め手は、発泡ゴム。

氷雪上でタイヤがすべる原因

氷上の**水の膜**が
路面との**密着**を妨げる
ためです



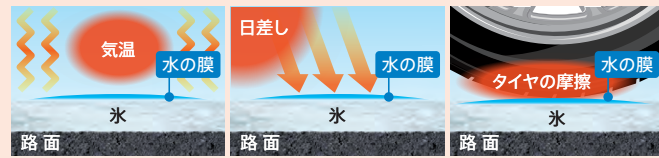
※イメージ図

冷凍庫から取り出した氷は最初につかめますが、
体温で融け始めると、すべってつかみづらくなります。
原因は、氷と指の間にできた**水の膜**です。



※イメージ図

路面の氷も「気温」「日差し」「タイヤの摩擦」によって表面に**水の膜**ができます。
この**水の膜**がタイヤと路面の密着を妨げ、すべりの原因となります。

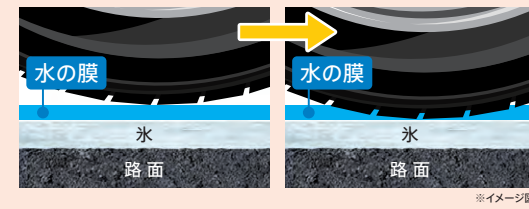


※イメージ図

スタッドレスタイヤが止まる理由

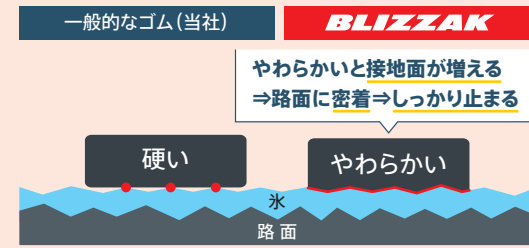
ゴムが**水の膜**を除いて、
しっかりと**氷**に密着する
ためです

①氷上の水の膜を除去



※イメージ図

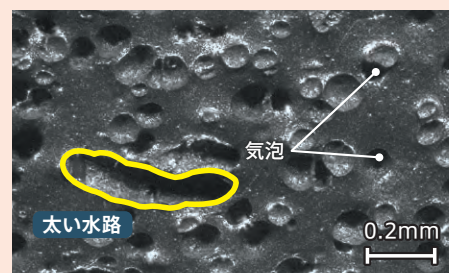
②ゴムの柔らかさで路面に密着



※イメージ図

「除水」と「密着」のサイクルを同時に行うことを可能にした 発泡ゴムの構造と機能

タイヤの表面を電子顕微鏡で拡大すると
多くの気泡と水路が点在していることが
確認できます。実はタイヤが水の膜に
接した時、この無数の穴に水を蓄える
ことで、路面とタイヤの間の水の膜を除去し、
路面に密着することでグリップ力を
発揮する仕組みになっています。

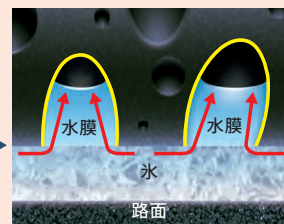


※イメージ図

水膜が除去され
タイヤが直接氷と密着する！

親水作用と毛細管現象により吸水力を発揮。
さらに、WZ-1なら親水性向上ポリマー配合で
除去しきれなかった水まで活用し抵抗を生み出します。

※説明のため各部分に色をつけて表現していますが、実際には色についてはありません。

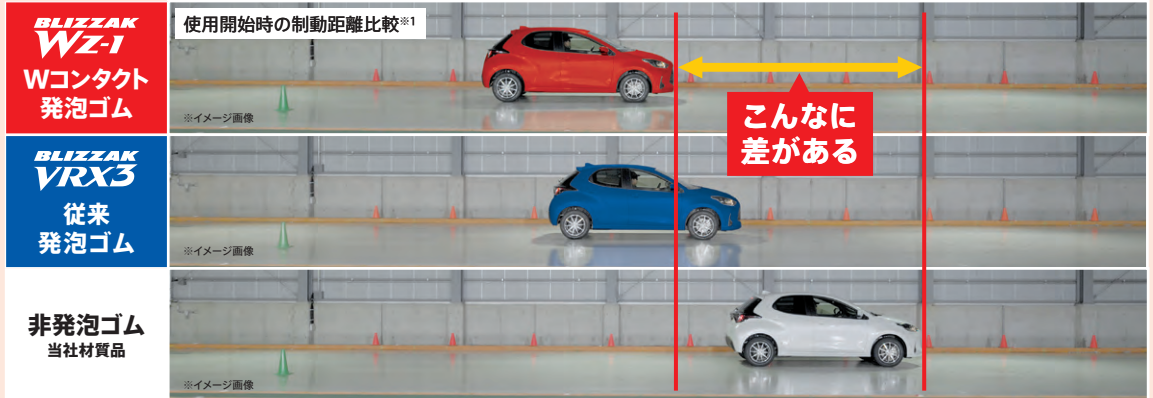


※イメージ図

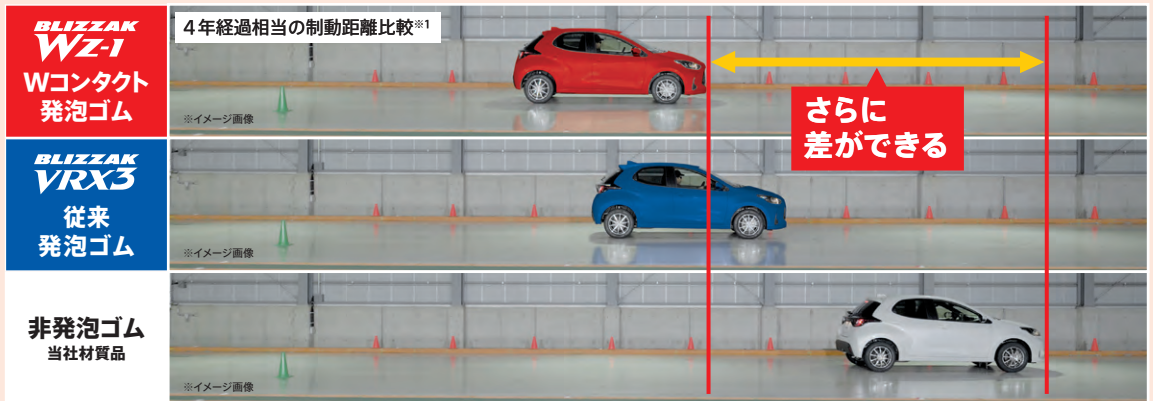


Wコンタクト発泡ゴムは、氷上性能が低下しづらい 4年後の性能に圧倒的な差が出ます

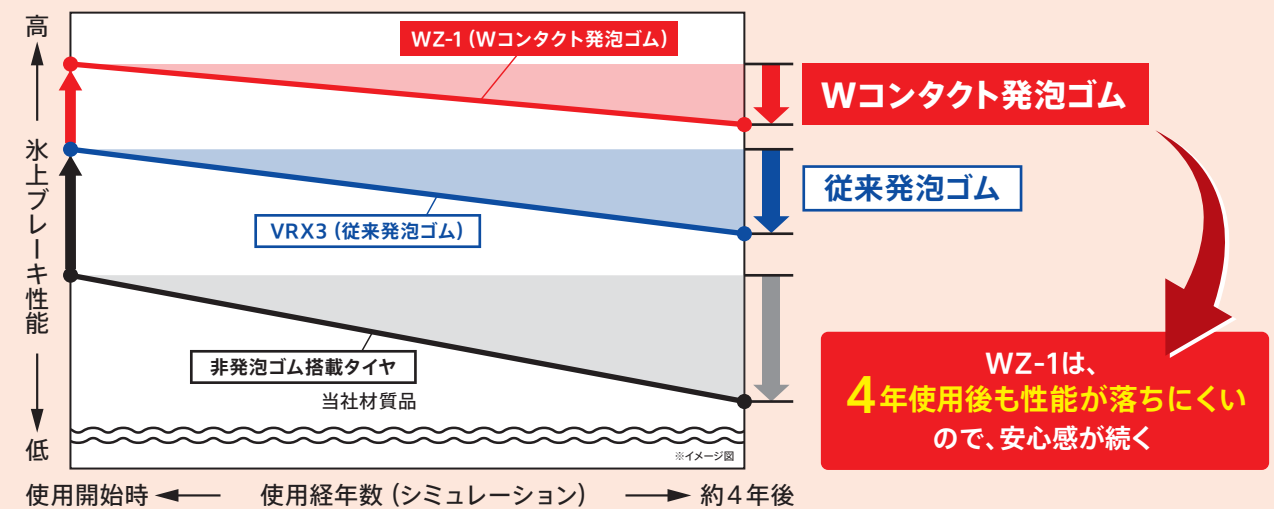
使用開始時



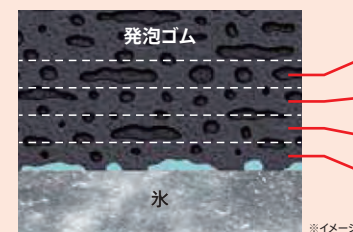
4年経過相当



■使用開始時からの発泡ゴムの氷上性能の推移イメージ※2



■ゴム内の気泡と水路ですり減ってもやわらかい = 優れた性能が長持ち



※イメージ図

すり減っても次々と新しい
気泡と水路が現れて路面に密着

発泡ゴムは、ゴム内の多数の気泡でやわらかさを確保。
ゴムに特殊なオイルを混入する方法とは違い、発泡ゴムは、
すり減ってもタイヤ表面に新しい気泡と水路が現れるので、
優れた性能が長持ち。

※1、※2の注釈はP.33をご覧ください。

